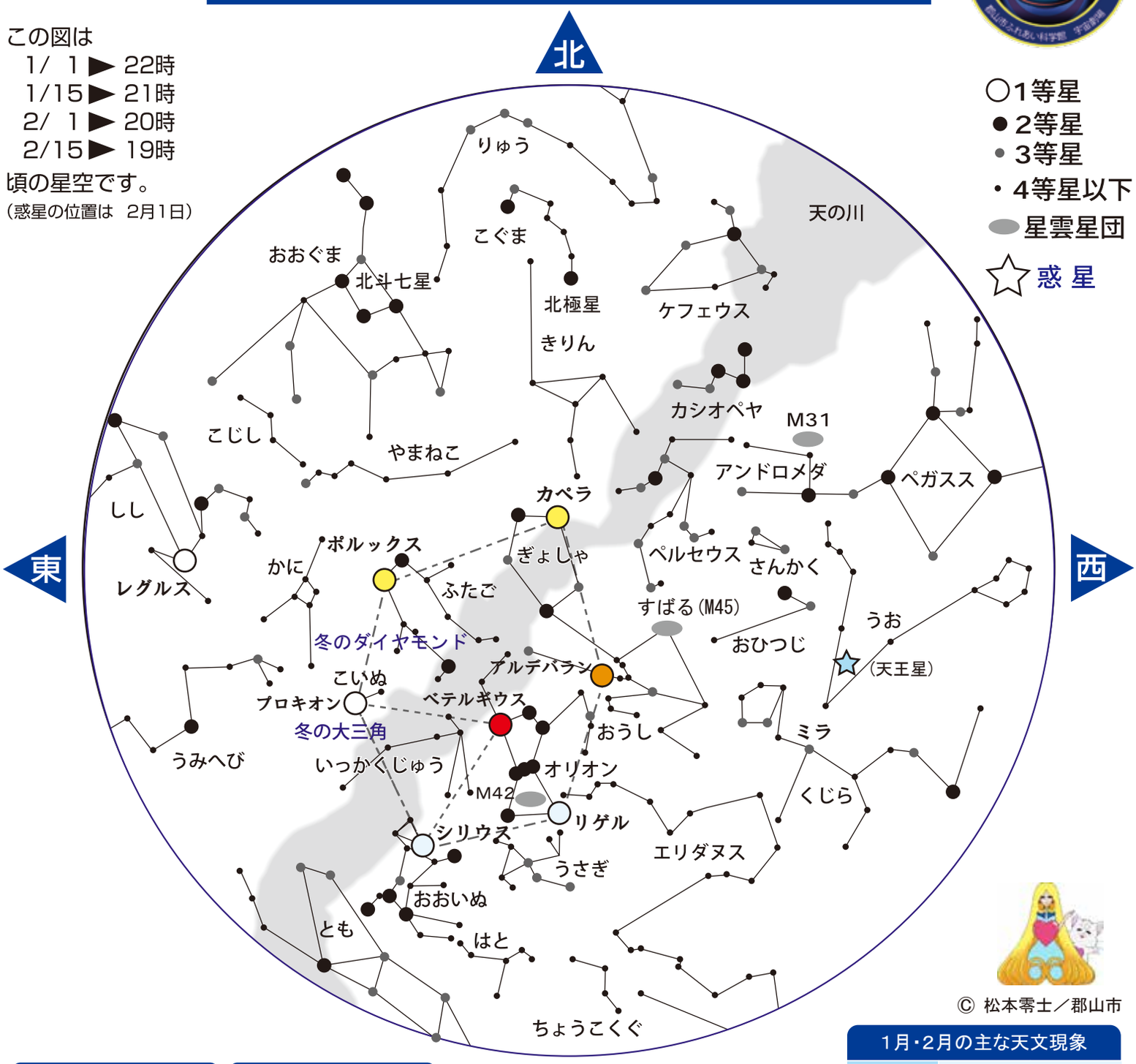
2018年 1月▶2月の星空

この図は
1/ 1▶22時
1/15▶21時
2/ 1▶20時
2/15▶19時
頃の星空です。
（惑星の位置は 2月1日）

○1等星
●2等星
・3等星
・4等星以下
星雲星団
☆惑 星



© 松本零士／郡山市

郡山の日の出.日の入		
1/ 1	6:53	16:32
1/15	6:52	16:44
2/ 1	6:42	17:03
2/15	6:28	17:18

月の満ち欠け	
新 月	1/17, 2/16
上 弦	1/25, 2/23
満 月	1/ 2, 1/31
下 弦	1/ 9, 2/ 8

※上弦、下弦は半月です。
※天王星は肉眼では見えません。

1月・2月の主な天文現象	
1/ 2	2018年最大の満月
1/ 4	しぶんぎ座流星群極大
1/31	皆既月食
2/ 4	立春

2018年の1月は、満月が2回あります。1回目は2018年最大の満月となり、2回目は皆既月食となります。月食とは、月が地球の影に入り、三日月や半月とは違う形に欠けて見える現象です。月が完全に地球の影に隠れる皆既食の時は、赤い月が観察できます。これは、地球の大気を通った太陽の光のうち赤い光だけが残り、その光が月を照らすためです。夕日は赤く見えますが、その光が月に当たっていると思ってみてください。月が欠け始めるのは午後8時48分ごろで、皆既食は午後9時50分ごろに始まり、午後11時8分ごろまで続きます。そして、2月1日の午前0時11分ごろには、元の満月に戻ります。少し遅い時間ですが、月食は他の現象より観察しやすく、気軽に見られます。また、7月28日の満月の際も皆既月食が起こります。この時の満月は2018年最小の満月でもあるため、珍しい条件で月食が起こります。この時は夜明け前の西の空で月が欠けながら沈んでいく様子が見られるでしょう。

満月の頃は、月の光で暗い星が見えにくくなります。しかし、南の空には明るい冬の星がよく見えることでしょう。特に、真っ赤なベテルギウスや青白いシリウスなど、1等星は星の色の違いがよくわかります。冬の大三角などの星の並びも探してみて、星の輝きをお楽しみください。